

各派代表者会議会議録

日時：平成25年12月26日(木)

午後1時30分～午後2時43分

場所：議会会議室

出席者

中村宗雄議長、渡辺昭司副議長
至誠会 新美保博議員、志民ネット 小出義一議員、
真政会 榊原伸行議員、公明党 山本半治議員、
日本共産党 松本如美議員、創政会 伊東英議員
議事課副主幹 山田茂樹、主事 堤友香

協議題1. 新庁舎移行後の歴代正副議長の掲示について

○中村宗雄議長

それでは各派代表者会議を開会します。本日1時間程度で終了できればと思いますので、スムーズな進行にご協力をお願いします。

まず、4つの議題について各会派から意見をお聞きしていきますが、先に決め方だけ決めたいと思いますのでご意見を伺いたいと思います。というのは、意見が割れたときにここで多数決をとるのか、議運で多数決をとるのか、全会一致をみなかったという結論で終わるか、3者選択しかないのですが、特に急いでおりますのは、正副議長の写真掲載については、予算との関係もありますので、一致をみなかったという訳にはいきません。代表者会議と議運の採決どのように違うのかと言えば採決権の数が違います。議運では真政会さんが2枚持っています。ここでの採決イコール議運での採決とはならないという側面もありますので、今挙げた3点の採決方法についてご意見を伺いたいと思います。

○松本如美日本共産党代表

基本的には全会一致がいいと思います。やむを得ない場合もありますので100パーセントとは言いませんが、万が一一致をみない場合は議運で採決すべきだと思います。代表者会議はあくまで代表者会議だと思っていますので、物事を決めるのは議運で決めるのが本来の姿だと思います。

○山本半治公明党代表

私も議運で採決すべきだと思います。

○小出義一志民ネット代表

基本は全会一致で決めたいですが、決まらない場合は議運で決めたいと思います。

○榊原伸行真政会代表

議運をお願いします。

○伊東英創政会代表

全会一致がいいとは思いますが、一致を見ない場合は議運で決めていただきたいと思います。

○新美保博至誠会代表

決定は議運で決めることであろうと思います。

○中村宗雄議長

全員の会派がここである程度意見調整はするにしても一致をみなかった場合には議運に送り、議運の採決にかけるという決定でよろしいでしょうか。

○新美保博至誠会代表

議運の採決というのは、多数決ということか。議運では全会一致を常としていますので、それを踏まえて話をしていかないと、なんでもかんでも議運に送ってもいけないと思いますので。

○中村宗雄議長

しばらく休憩します。

休憩 午後 1 時 40 分

再開 午後 2 時 5 分

○中村宗雄議長

会議を再開します。只今協議をいただきましたが、正副議長の表示についての方法は現状のままの写真を使用する。そして、議長室の真向かいにあるテラス、議事課をスタートとして委員会室へ２段で掲示するという方向で予算措置していただくということですのでよろしいでしょうか。

【「はい」と呼ぶ声あり】

協議題 4. その他

○中村宗雄議長

それでは次に簡単なところから、４番にいきます。これも実は知多南部の事務局に概ねニュアンスを伝えたいというのがありますので、順番にご意見をいただきたいと思います。

○松本如美日本共産党

至誠会と同じです。

○山本半治公明党代表

私も至誠会と同じです。

○小出義一志民ネット代表

一緒でよろしいです。

○榊原伸行真政会代表

現状半田が４人ですが、人口、出資割合から考えるとそのまま４人。武豊も議長を含めて４人。あとは３人。

○伊東英創政会代表

私どもも出資割合などを考えて現状のまま４人で。武豊は議長を含め４人。後は３人というのがいいと思います。

○中村宗雄議長

お聞きしたいのですが、もともと半田が４人に決まっていることについて、議事録を読みますと常滑がかなり猛反発をしているようですが、なぜ４人なのかというのは建設予定地が半田であることが共通の認識だと思います。今回建設地が武豊に移った場合に半田が４人である正当な理由がありません。それを論破できるだけの考えをお持ちでしたらご披露していただきたいですし、なければ、ただの希望であり、戦えないと思いますがいかがでしょうか。

○榊原伸行真政会代表

希望でありまして、提案ができれば、人口、投入量、出資割合などから言えば４人であってもいいのではという希望です。

○伊東英創政会代表

私どもも希望であり、皆さんの意向にはそっていききたいと思います。

○中村宗雄議長

できれば半田のわがままというのをこれ以上言えない状況下にありまして、今聞きましたところでは、建設地でなくなったから３人でいいよ、というご意見もありました。これはニュアンスを伝えるのみで、意見の一致をみるものではありませんので、事務局にはこれらの意見を伝えます。情報の中で、事務局

長は普通建設地が出すそうですが、事務局長は半田市から出すこともあるそうです。これらの中で、議員定数の話と議長、副議長をどこから出すかという話は規約にあることではありませんので選挙で決まっていけばいい話ですので、今のニュアンスを伝えさせていただきます。

○新美保博至誠会代表

もともと建設候補地ということでの4人なので、希望であってもその意見は伝えない方がいいと思います。わがままと捉えられてしまうと思います。

○榊原伸行真政会代表

あくまで希望ですので、3人でいいです。

○伊東英創政会代表

3人でいいです。

○中村宗雄議長

ではルールに基づいて建設候補地から外れるので3人になる。これについては特に意見はない。ということで決まりました。

これで最初に話し合っておきたい2つは終わりましたので、後は意見の一致をみないと思いますが、その時の会議の取りまとめ方だけを決めておきたいを思います。これらについては答えを出さなくても弊害はありませんが、意見の一致をみなかった時点で終わらせるか、何か進展があるようなことをするかどうしましょう。しばらく休憩します。

休憩 午後2時18分

再開 午後2時19分

協議題2. 政務活動費について

○中村宗雄議長

では各会派の考えを番号で言ってもらって、付け加えたい理由があればわかりやすいと思いますのでお願いします。まず政務活動費からお願いします。

○松本如美日本共産党代表

3番と5番の折衷ですが、市民との関係がありますので、議会で簡単に決められますが、名古屋市議会などの状況を見ていますと単純に議会で決めればいいとは思っていません。前に言ったように、平たく言えば来年選挙ですので、必要だと思う人は公約のように示して、過半数が当選すれば実施する。というのが後腐れなくすっきりしていいと思います。それくらいのことが市民との関係を強調しておかないと、いつまでたっても議会が勝手にやったと言われてしまうと思います。

○山本半治公明党代表

本当なら早くやってほしいと思っていましたが、情勢が厳しいということで改選後からは政務活動費は必要だと思っていますので、来年度からしっかりした委員会なり、議会などで形を作って、検討していただき、改選後から活動費をつける、3番でお願いします。

○小出義一志民ネット代表

同じく3番です。

○榊原伸行真政会代表

我々の会派は、政務活動費について議論が滞っていることを踏まえ、2番、3番で今年も、来年も協議をして改選後実施ということです。

○伊東英創政会代表

私どもも議論が中断している状況で、まだ今年度もありますので、2番と3番です。

○新美保博至誠会代表

3番とした覚えがなく、できれば訂正したいのですが、3番と5番の間です。来年度協議することには賛成ですが、改選後に実施というのは来年度で決めてしまうというのはいささか問題があるように感じます。来年度に協議し実施ありきではない。

○中村宗雄議長

そうしますと、真政会、創政会、公明党、志民ネットは同じカテゴリ、要するに改選後に実施として今から1年半かけて協議をしていくというものだと思いますが、共産党は選挙で民意を諮る。至誠会は協議をするけれども実施ありきではないということですが、どこで機が熟したと言える段階になるのでしょうか。

○新美保博至誠会代表

政務活動費の必要性からみなさんにお聞きしたい。本当に必要なのか。今年度自腹を切って何か活動をしたのか。後先生ともう一人読んだけど議会費でやったよね。もう一步、本当に活動するにはこれだけのものがあるんだ、今までの報酬からこれだけのものがかかっているんだということを何もやっていないでしょ。市民がそれは必要だと、自腹を切らしては気の毒だと認めさせていないという風に理解している。何もやっていないと思っているから。そういうこともやって市民の人がそういう費用も必要だと認知をしてもらえる活動ができれば実施があると思う。今、共産党が言ったのは言い案だと思う。4会派の人はマニフェスト書けばいい。活動費賛成ですと。その人たちが認められれば、過半数とれば堂々と提案できると思う。選挙で決めるのも一つだと思います。この1年協議、来年度協議というのはもう少し市民の皆さんが理解してくれることをやりたいと思う。

○松本如美日本共産党代表

私は政務調査費の時代からせいぜい本を買う費用ぐらいにしか使っていませんでした。活動の中身など問題があり、使いにくかったこともあります。今話していたように、なくても活動してきた経過がずっとあるし、今でも自分たちで新聞など作ってやっていますが、活動費と生活費は混在している認識しています。必要性は全く感じませんが、前回から議論をずっとしてきた経過がありますから、それでなお、みなさんが必要とするなら、選挙という1つの方法としての提示です。決して求めているものではありません。

○中村宗雄議長

今のこの時点から未来にかけて協議していくことは同じですが、復活というのはハードルを越えなくてはいけないという会派が2つ。そして復活すべきという会派が4つですのでその現状がわかりました。鶏が先か卵が先かという議論に似ていて平行線をたどる部分もあるかと思いますが、協議をするぞ、という話をしています。もし協議をするのであれば何を協議しますか。協議をするという点では意見の一致をみましたので、協議内容のヒントとなるようなものがあればお願いします。

○松本如美日本共産党代表

冒頭にも言いましたが、民意の諮り方だと思います。どういう形で諮るのかという点だと思います。

○中村宗雄議長

もし、今後協議をしていくのならば、民意の諮り方について協議をしていくということによろしいでしょうか。

ちなみに報酬審議会でも市長の5パーセントアップが決まりました。なぜ5パーセントアップかということと5パーセントアップしたのではなく、減税を実施し

た時に、自分で5パーセント切ったものを戻す、正常な形にするということになりました。

○新美保博至誠会代表

僕は政務活動費の必要性はすごく感じています。だけど必要性を感じている中でも、今手を挙げられるかと言えば挙げられません。来年度はできるかできないかわからないけれども、マイナスになった、これだけ費用がかかったというものを見せたいと思う。会派の中でそういう話はしていますが、2カ月に1回くらい議会費を使わずに勉強会を議会全体でやったらどうか。

○中村宗雄議長

それでは継続して、こういうことも改めて代表者会議において今後のことも決めて、今至誠会の言われたような自腹を切った勉強会で実績をあげながら、というのも一つの方法論だと思いますが、来年度も議会の研修費用は予算計上していますので、その過不足等も考えて実績作り、どう使っていくのか検討していきたいと思います。僕も使ったことのないお金ですので、あれば使うでは確かに民意は得られないと思います。選挙、実績等も含め検討をしていくということで一致をみたということではよろしいでしょうか。

【「はい」と呼ぶ声あり】

協議題3．議長等の任期について

○中村宗雄議長

続きまして最後になります。議長等の任期、こちら番号で言っていていただけて補足していただければと思います。

○松本如美日本共産党

来期から2年毎になれるように今期で決める。2番、4番です。

○山本半治公明党代表

うちは4番です。

○小出義一志民ネット代表

特に意見はありません。というのは議長が大変だなとも思いますので、連続して2年やってもらう状況がよくわからないのもあります。逆に2年やることでどういうプラスがあるのかということも考えがありません。逆に皆さんのご意見を伺えればと思います。

○榊原伸行真政会代表

5番、改選後に新議員にて協議です。

○伊東英創政会代表

5番、改選後に新議員にて協議です。

○中村宗雄議長

至誠会補足はありますか。

○新美保博至誠会代表

ないです。

○中村宗雄議長

逆にお伺いしたいのですが、改選後に協議をすると実施できるタイミングはあるのでしょうか。

○新美保博至誠会代表

ないでしょう。あるとすれば3年、4年目はあるかもしれません。でも、1年でなる、来年の議長が連続でやればどうだという話になれば、1・2年、3・4年もあるかもしれません。

○山本半治公明党代表

その時の議長が続けてやることはできるのか。

○松本如美日本共産党代表

ただうちはごろごろ変わっているが後はだいたい2年でやっている。市長は4年だから、市長は知っているが議長は知らないという人も多い。たまたま議長の都合でごろごろにして毎回改選している経緯があるけれども、議長等として含まれているのかもしれませんが、本来委員長も所管の中身を熟知していないと本来の取り回しが難しいと思います。協議して1年で交代しているけれどもまずは2年で一つのステップだと思っています。選挙終わって議論をしましょうと言っても新しい新人議員はよくわからずに振り出しに戻る話だから、どこでやろうが大して変わりませんが、現職の今の人たちが一定の方向を付けて改選後実施してもこれこそおかしくないと思います。そういう意味では新人議員さんも3年経過してだいたい雰囲気わかっている中で議論に参加した方が、選挙後に協議するより議論はしやすいのかなという気がします。

○中村宗雄議長

他市町の状況ですが、常滑は改選後からは2期制になります。そうすると知多半島5市5町の中で半田市だけになってしまうのかなと。そういう状況の中で僕がお聞きしたかったのは、5番を選ばれた方というのは改選後の3年目4年目が実質的な2期制の始まりであるという認識でよかったかなというのと、テクニカル的に審議できるとは考えにくかったものですから、そのあたりの考え方。また議長等というのもいろんな組み合わせがあると思います。例えば高浜のように議長が2年で副議長は1年。なぜかと言えば議長職のポストに就ける議員数を増やすだとか、常任委員会は2年で特別委員会は1年だとか、監査委員は2年であつたりという組み合わせもありますので継続して協議をしていく必要があると思います。共通の認識の中でいつかは2年というものがあると思いますが、いつから2年なのかという部分もあると思います。僕の思う所でもあります、新しい議員の中で外部の状況やなぜ2年なのか、ということがなかなか煮つまらない中で、僕はできれば今年度来年度の中で改選後はこういうガイドラインでどうかと、それをひっくり返す権利は改選後の議員さんたちにありますので、そういうものを決められるといいかなと思います。

○松本如美日本共産党代表

私もそう思います。このことこそやるべき。状況を知っている人がやらないと、先ほど言ったように選挙が終わった後にやることはできるかもしれないが現実的にはなかなか意見が言えない話だし、みえないことも多い。そういう点ではそこに期待をするよりかはここで次に送ったほうが現実的な話だと思うし、先ほど議長が言ったように半田も一定の踏切を切ったほうがいいと思います。

○新美保博至誠会代表

これは昔の話だからそれを持ち出しても仕方ないかもしれませんが、そこそこの期数の議員が3人いたとする。4年の中で2人しか入れない、一人は入れないというのを嫌だと言ってかたくなにこだわった人がいるのは事実です。その人たちが心持を変えてくれない限り成しえない話だと思います。

○中村宗雄議長

これについては継続して話をしていきたいと思います。これについては原田事務局長も考えていただいているのですが、今の議長職の務め方というのは1年間猛ダッシュ。なんでもかんでもやって、息切れしたところに交代する。2年こんなことやってられるかという話もあります。もし、2年でやるなら副議長と議長の仕事をシェアしないと、議会以外で普通の議員さんが議会の仕事があるのは1か月に1回くらい。副議長は1週間に1回。議長は毎日あります。この状

況を議長の仕事を副議長と、委員長の仕事は副委員長とシェアしないとやっていけないです。僕がやってもしんどいと感じる訳ですから、年齢的なことも考えればもっと大変な人もいるはずです。政務活動費だけが議題ではあれですから、代表者の中でどうしていこうということを議論していただきたいと思いますがいかがでしょうか。

【「はい」と呼ぶ声あり】

○中村宗雄議長

概ね2期にするということはいいいけれども時期に対して、手法についてはこの代表者会議の中で協議をするということで意見の一致をみたということによってよろしいでしょうか。

【「はい」と呼ぶ声あり】

○中村宗雄議長

それでは予定しました議題はすべて終了しました。他に何かあればお願いします。

○松本如美日本共産党代表

先ほど政務活動費のことですが、至誠会が共産党は必要ないんだと言っていました、半田市議会の経過からして、現状は元に戻すということで必要ないとしています。本来政務活動費はあるべきだと思いますが、半田市議会では経緯がありますのでその中で戻すのは無理だというのが結論です。誤解があるといけませんので。

○中村宗雄議長

それでは次回の代表者会議の日程を決めるわけにはいきませんがだいたい1月中に開催させていただいて、掘り下げてボリュームを量りたいと思います。松本さんの都合もありますので、全員がそろった段階ではありますが、よろしくをお願いします。

これで会議を終了します。

閉会 午後2時43分